

【令和5年度生ごみ処理機器モニターレポート Vol.6】

生ごみ処理機器を使用したモニターの声伝えていきます。



こちらの方は、2人家族のモニターです。

世帯構成から、あまり多くの生ごみは出ないそうですが、こまめに処理機を利用しないと室温の上昇とともに臭いが気になるようになったため、2日に1回の稼働だったのが、1日1回となり、生ごみ処理機の利用回数が増えたそうです。

こまめに利用することで、環境的にも経済的にもエコではない気がして葛藤しているとのこと。

ごみの臭いについては、可燃ごみの収集日まで台所に置いておいても気にならなくなり、また、生ごみ処理機使用後の生ゴミは潰せるので、可燃ごみの量が圧倒的に少なくなるそうですが、やはり電気代の高騰が心配だそうです。

【令和5年度生ごみ処理機器モニター事業について】

令和4年度に続き、令和5年度も釧路市では生ごみ処理機器の新たなモニターを募集し、使用した感想を発信していくことで生ごみの減容・減量化への意識を醸成していく取り組みを行っています。

皆さんも、モニターの声をもとに参考にして生ごみの減容・減量化に取り組んでみませんか？

※掲載されている内容は、あくまでも生ごみ処理機器を使用した感想であり、機器の性能評価ではありません。

【問合せ先】

釧路市市民環境部環境事業課

TEL 0154-31-4551 FAX 0154-24-4145

ka-haikibutu@city.kushiro.lg.jp